

## 評価と今後の課題は

## 成功裏の宣言文を防災に

**問** 11月25、26日開催の「世界津波の日高校生サミットin黒潮」は多くの住民や、関係者等の協力で成功裏に閉幕したと思うが、取り組みも含めどう評価し今後の課題を明確にし、取り組んでいくか。

**答** 大西町長

本サミットは、防災の知見と地震津波の脅威を伝え、必



議員 岩義 いわよし 藤本 ふじもと

要な防災、減災、迅速な復旧復興、国際連携に資する施策を総合的かつ計画的に実行することで国民の生命等を守り生活や、経済への影響を最小化できる将来のリーダーの育成を目的に開催された。この間、町民、関係者、職員の協力があって目的を達成し成功裏に終わった。多様な価値観や考え方があつた中、一つの宣言文にまとめ発信した意義は大きい。

今後サミットで交わされた議論の全体を把握し防災に生かしていく。黒潮町のレガシーとして記録等はしっかりと残す。

\*写真は総会会場の全景

海外29ヶ国61校246名、引率38名。国内37校113名引率47名が参加。



## 職員労務管理

過重労働になつていないか

安全衛生委員会で協議する

**問** 今年も一般会計だけで129億6千万円あまりの予算が組まれ、多くの事業等で職員に相当無理があつたのではないか。国からも「働き方改革」が言われている。出退勤のデータやストレスチェックを元に安全衛生委員会で協議し、過重労働とかで問題が発生しないようにしているか。

**答** 松田副町長

防災対策や創生事業等で職員に負担をかけている。出退勤のデータや時間外は所属長が管理システムを使い適時照会し対応している。心理療法士によるメンタル対応も月1回行いメンタル不全を未然防止に努めている。衛生管理者も含め指摘を受けた事項を、今後、安全衛生委員会で協議し、方向性を取りまとめた。

## 財産の管理

町有地の

未登記は

時間を頂き検討する

**問** 財務規則では土地を買収したときは登記完了後に代金を支払うことになっているが諸事情によってその処理がなされていない。また、寄贈された土地もそのままの状態がある。住民に迷惑をかけているので対策をすべきでは。

**答** 森田総務課長

未登記の土地は38筆ある。また、昭和の時代寄贈等で拡張した町道では相当数が未登記である。

合併後要領で登記前に支払った土地は37筆34247㎡、その後、登記完了は29筆残り8筆ある。現在3名の嘱託で対応しているが、今後は地籍調査と連動し登記を進めるとともに、対策について少し時間をいただいで検討したい。